



☆☆ ☆特集記事



◆◆◆ E59 函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路（北斗茂辺地 IC～木古内 IC）の開通
について◆◆◆

～路線の概要と整備効果について～

（国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部）

北海道開発局函館開発建設部が事業を進めてまいりました函館江差自動車道について、北斗茂辺地 IC～木古内 IC間（延長16km）が、令和4年3月26日（土）に開通となりました。本稿では、当該道路の概要と整備効果についてご紹介します。



☆☆ ☆道路占用Q&A



◆◆◆ 地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用
の取扱いについて（その3）◆◆◆

（国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室）

地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用の取扱いについて解説する。



☆☆ ☆TOPICS ○○○。.. ○○○。



◆◆◆ EV充電器の公道設置に関する実証実験◆◆◆

（横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課）

横浜市は、平成30年にSDGs未来都市として国から選定され、同年に2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」を宣言し、持続可能な都市を目指して温暖化対策に取り組んでいます。運輸部門の脱炭素化の実現に向け、次世代自動車（EV・PHV・FCV）の普及を促進することとしており、乗りやすい環境整備や充電インフラ拡大に資する新たな仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。この取組の一環として、横浜市青葉区において、全国で初めて公道上にEV用充電器を設置し、公道に充電器を設置する際の課題や有

用性について検証する実証実験を開始しました。本稿では、背景や概要等についてご紹介し
ます。



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取り組み事例



★国道18号妙高大橋の開通について★°・*:.。

(国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所)

妙高大橋は、昭和47年に架設されたPC4径間連続箱桁橋で、建設から約50年が経過
している。

平成21年に箱桁内部のPCケーブルに腐食・破断が発見されたため、平成24年度より
架け替え事業に着手した。

今回、新橋を含むバイパス区間1.1kmが開通したので報告する。



★山陰近畿自動車道における取り組みと整備効果★°・*:.。

(兵庫県土木部 道路企画課・道路街路課)

山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市から本県但馬地域を經由し、京都府宮津市に至る総延
長約120kmの高規格道路で、日本海国土軸の一翼を担う重要な路線です。また、日本海側の
高速道路網のミッシングリンクの解消など、広域的な循環ネットワーク形成と地域の交流・
連携の促進、安全・安心の向上に資する道路として重要な役割が期待されています。



★鉄道駅舎の改良を契機とした周辺道路の交通安全対策について★°・

(姫路市 都市局 交通計画部 鉄道駅周辺整備課)

駅舎のバリアフリー化を主たる目的として平成31年に着工した山陽電鉄・大塩駅橋上駅
舎化工事が令和4年3月に完了しました。

姫路市では、鉄道事業者による橋上駅舎化を国・兵庫県と協調して支援するとともに、駅
前広場の整備等駅周辺の整備を進めています。

鉄道事業者による駅舎改良を契機に、駅周辺の交通にまつわる諸課題を解決する本市の
取り組みを紹介します。

「 「 「 「

「 「 ☆編集後記

.....

どうしても、「痛風」になりたくないです。このような思いから、こまめな水分摂取を心がけています。というのも、身近な人が相次いで痛風に似た症状に見舞われたからです。

私たちの身体では、細胞が新陳代謝をするためにプリン体という物質が作られます。プリン体は、細胞の核に存在しているため、ほとんどの食品に含まれています。身体に存在するプリン体は、約 80%は体内で作られ、残りの 20%は食べ物から摂取したものだといわれており、古くなると「尿酸」となって排出されます。この尿酸が過剰に蓄積されると（尿酸値が 7.0mg/dL を超えたら）、「高尿酸血症」となり、悪化するとやがて痛風発作を引き起こすこととなります。痛風発作は、尿酸の結晶が関節に沈着して起こるもので、ある日突然、腫れと激痛がやってくるそうです。この痛みは、痛風関節炎といい、足の親指の付け根に起こることが多いものの、足首／足の甲／膝／手首／ひじなどでも起こる可能性があります。風が吹いても痛いというほどの激痛らしく、靴／靴下が履けない、歩けないといった具合に、生活に大きな支障をきたします。

痛風発作を引き起こさないためには、高カロリーな食品、アルコール（特にビール）、プリン体の多い食品（魚肉の肝、魚卵など）を控えることが肝要であり、尿酸が体外へ排出されるように水分を多めに摂取すると良いと聞きました。また、ある研究者の書籍によると、身体をアルカリ性にするとう尿酸が排出されやすくなることから、アルカリイオン水が効果的であるとの記述がありました。しかしながら、水道水で十分と考えている自身にとっては、高価な代物となるため、予防のために飲むかどうかは迷いどころです。

痛風の症状に見舞われた身近な人は、1人はよくお酒を飲まれる方（Aさん）なので、時間の問題であったかと思いますが、もう1人の方は、お酒が全く飲めない体質の方（Bさん）です。Bさんの過去の健康診断の尿酸値を確認したところ、基準範囲の値であり、プリン体が多いと言われている食品の摂取量は少ないとのこと。そこで、他の要因が考えられますが、痛風発作はストレスが大きく関わっているともいわれています。職場で隣の席に座るBさん。私がストレスを与えているのではないかと心配になります。もし、ストレスに思うことがあれば、改善を図りたいと思うので、どうか教えてください。<この文章を事前に読んでもらったところ、痛風とは診断されていないと怒られました>（U）